



2020年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
コード番号 6255 URL <https://www.npcgroup.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 雅文
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 廣澤 一夫

TEL 03-6240-1206

定時株主総会開催予定日 2020年11月26日 配当支払開始予定日 2020年11月27日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家および証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	7,938	15.4	879	28.1	884	34.2	749	10.0
2019年8月期	6,878	6.7	686	35.6	659	43.8	680	65.8

(注) 包括利益 2020年8月期 740百万円 (9.1%) 2019年8月期 679百万円 (65.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
2020年8月期	円 銭 34.10	円 銭 —	% 11.1	% 9.8	% 11.1
2019年8月期	円 銭 30.87	円 銭 —	% 11.2	% 8.2	% 10.0

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 ー百万円 2019年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2020年8月期	百万円 10,104	百万円 7,044	% 69.7	円 銭 320.81
2019年8月期	百万円 7,922	百万円 6,420	% 81.0	円 銭 291.17

(参考) 自己資本 2020年8月期 7,044百万円 2019年8月期 6,420百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
2020年8月期	百万円 1,596	百万円 △55	百万円 △206	百万円 2,052
2019年8月期	百万円 △16	百万円 △55	百万円 △107	百万円 719

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 3.50	百万円 77	% 11.3	% 1.3
2020年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 3.50	百万円 76	% 10.3	% 1.1
2021年8月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00	百万円 —	% 15.8	% —

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,441	56.8	260	57.8	241	54.6	215	54.0	9.82
通期	5,849	△26.3	327	△62.8	303	△65.7	277	△62.9	12.66

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年8月期	22,052,426 株	2019年8月期	22,052,426 株
2020年8月期	95,284 株	2019年8月期	435 株
2020年8月期	21,963,603 株	2019年8月期	22,051,991 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年8月期の個別業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	7,887	15.9	815	30.4	804	35.0	684	8.9
2019年8月期	6,803	5.8	625	30.7	596	37.0	628	60.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	31.17	—
2019年8月期	28.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年8月期	9,874		6,813		69.0		310.33	
2019年8月期	7,743		6,246		80.7		283.27	

(参考) 自己資本 2020年8月期 6,813百万円 2019年8月期 6,246百万円

2. 2021年 8月期の個別業績予想(2020年 9月 1日～2021年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,411	58.1	250	78.7	232	71.6	213	60.9	9.71
通期	5,788	△26.6	339	△58.3	316	△60.7	294	△57.1	13.39

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結貸借対照表関係)	11
(連結損益計算書関係)	11
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13
生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、当初は緩やかな景気の回復傾向にあったものの、その後発生した新型コロナウイルス感染拡大によって経済活動が大きく抑制され、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。世界経済においても、今なお欧州諸国を中心に新型コロナウイルス感染症の再拡大によるロックダウンが一部で検討される等、経済活動への影響は長期化し、先行きが極めて不透明な状況が続いております。

当社の装置関連事業、特に太陽電池製造装置の関連する市場においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発電所設置の作業人員の手配ができず、作業が物理的に制限されたことが原因となり、高水準で継続していた市場の成長に一時的な減速が見られました。しかしながら、コロナ禍後の経済復興と、脱炭素社会への移行等、環境課題への取り組みを両立させるグリーンリカバリーの考え方の普及によって、太陽電池の需要が全世界的に一層の高まりを見せております。また、その他のFA装置に関しても、コロナ禍を受けて生産の自動化の必要性が認識されているほか、効率化、生産能力の向上、稼働率の向上等に対するニーズが継続的に存在しています。しかし、自動車業界を中心として、コロナ禍の影響により設備投資を見合わせる等一時的に大きな影響を受けています。

当社の環境関連事業が属する太陽光発電業界においては、発電コストの低下や再生可能エネルギーへの更なる注目の高まりに加え、認定済み未稼働発電所に対する稼働期限が設定され、国内の太陽光発電所の設置が進展しています。また、将来的なパネルの大量排出を見据え、引き続き排出パネルの適正なリサイクル方法や処理体制の整備の必要性が増しています。

このような状況下、当連結会計年度の売上高は7,938百万円（前期比1,059百万円の増収）と期初の計画をやや下回る結果となりました。利益面においては、利益率が改善したこと、販売管理費が減少傾向になったことで期初の計画を上回り、営業利益は879百万円（前期比192百万円の増益）、経常利益は884百万円（前期比225百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は749百万円（前期比68百万円の増益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①装置関連事業

装置関連事業におきましては、米国の主要顧客である太陽電池メーカー向け大型新規ラインの売上を予定通り計上し、部品販売も堅調に推移しました。国内のFA装置については好調な電子部品業界に向けた販売が伸びました。一方、主に自動車業界で売上を見込んでいた案件についてはコロナ禍の影響を受け、低調となりました。売上高は7,485百万円（前期比1,082百万円の増収）となりました。営業利益につきましては1,286百万円（前期比136百万円の増益）となりました。

②環境関連事業

環境関連事業におきましては、検査サービスが期初の予想を大きく上回って好調に推移した一方で、予定していた国内でのパネル解体装置の販売が来期にずれ込み、売上高は453百万円（前期比23百万円の減収）となりました。営業利益につきましては143百万円（前期比72百万円の増益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,365百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金の増加1,333百万円、電子記録債権の増加103百万円、仕掛品の増加970百万円があった一方で、原材料及び貯蔵品の減少67百万円があったことによるものであります。固定資産は3,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円の減少となりました。これは主として、建物及び構築物の減少152百万円、繰延税金資産の減少43百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は、10,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,182百万円の増加となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は3,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,547百万円の増加となりました。これは主として、買掛金の増加123百万円、電子記録債務の増加590百万円、前受金の増加665百万円、製品保証引当金の増加186百万円があった一方で、リース債務の減少79百万円があったことによるものであります。固定負債は32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。これは、退職給付に係る負債の増加11百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,559百万円の増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は7,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ623百万円の増加となりました。これは主として、利益剰余金の配当77百万円及び親会社株主に帰属する当期純利益749百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当期純利益の計上884百万円、減価償却費の計上、製品保証引当金の増加、仕入債務の増加、前受金の増加があった一方で、売上債権の増加、たな卸資産の増加、配当金の支払額、リース債務の返済による支出があったことにより、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加し、2,052百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は1,596百万円(前連結会計年度は16百万円の支出)となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益の計上884百万円、減価償却費の計上198百万円、製品保証引当金の増加186百万円、仕入債務の増加716百万円、前受金の増加665百万円があった一方で、売上債権の増加137百万円、たな卸資産の増加902百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は55百万円(前連結会計年度は55百万円の支出)となりました。これは主として、関係会社の清算による収入7百万円があった一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出68百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は206百万円(前連結会計年度は107百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払額76百万円、自己株式の取得による支出49百万円、リース債務の返済による支出79百万円があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期
自己資本比率(%)	67.7	71.8	81.0	69.7
時価ベースの自己資本比率(%)	63.9	93.9	90.5	87.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.8	0.3	—	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	14.4	30.6	—	593.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

来期（2021年8月期）は、主要顧客である米国の太陽電池メーカーにおける増産のための新規設備投資がないことから、過去継続していた大型の太陽電池製造ラインの売上計上がなく、主に改造や既設ラインの増設の売上計上となることを見込んでおります。このため来期（2021年8月期）は減収減益を見込んでいますが、主要顧客以外の太陽電池製造装置の販売先が拡大していることや、環境関連事業も堅調に推移することから、黒字を維持できる見込みです。

以上の結果、来期の連結業績見通しにつきましては、売上高5,849百万円（前期比2,088百万円の減少）、営業利益327百万円（前期比552百万円の減少）、経常利益303百万円（前期比580百万円の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益277百万円（前期比471百万円の減少）となる見込みです。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	719,251	2,052,788
受取手形及び売掛金	2,221,078	2,245,993
電子記録債権	13,048	116,937
仕掛品	531,258	1,501,274
原材料及び貯蔵品	83,957	16,111
その他	258,445	247,996
貸倒引当金	△11,891	-
流動資産合計	3,815,148	6,181,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,827,031	3,835,381
減価償却累計額	△1,558,663	△1,719,629
減損損失累計額	△8,073	△8,073
建物及び構築物 (純額)	2,260,294	2,107,679
機械及び装置	697,703	666,165
減価償却累計額	△140,524	△150,499
減損損失累計額	△487,160	△456,940
機械及び装置 (純額)	70,017	58,726
土地	1,548,050	1,548,050
リース資産	763,520	763,520
減価償却累計額	△527,377	△527,377
減損損失累計額	△236,142	△236,142
リース資産 (純額)	-	-
その他	270,705	299,520
減価償却累計額	△236,157	△254,868
減損損失累計額	△4,514	△4,514
その他 (純額)	30,033	40,137
有形固定資産合計	3,908,394	3,754,592
無形固定資産		
その他	13,626	37,116
無形固定資産合計	13,626	37,116
投資その他の資産		
繰延税金資産	127,537	83,865
その他	57,594	47,929
投資その他の資産合計	185,131	131,795
固定資産合計	4,107,152	3,923,504
資産合計	7,922,300	10,104,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,655	388,325
電子記録債務	614,353	1,204,748
リース債務	79,558	-
未払法人税等	4,149	91,485
前受金	199,203	864,481
賞与引当金	73,816	70,653
製品保証引当金	-	186,650
受注損失引当金	41,084	38,423
その他	203,964	183,264
流動負債合計	1,480,785	3,028,033
固定負債		
退職給付に係る負債	20,681	32,528
固定負債合計	20,681	32,528
負債合計	1,501,466	3,060,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,734,875	2,734,875
利益剰余金	846,128	1,516,464
自己株式	△431	△39,214
株主資本合計	6,393,033	7,024,587
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,800	19,457
その他の包括利益累計額合計	27,800	19,457
純資産合計	6,420,834	7,044,045
負債純資産合計	7,922,300	10,104,606

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	6,878,773	7,938,097
売上原価	5,216,566	6,126,184
売上総利益	1,662,207	1,811,912
販売費及び一般管理費	※1,※2 975,245	※1,※2 932,195
営業利益	686,961	879,716
営業外収益		
受取利息	30	53
為替差益	-	15,419
関係会社清算益	-	3,121
業務受託料	1,360	-
補助金収入	570	-
還付加算金	381	793
スクラップ売却益	1,784	2,078
その他	431	590
営業外収益合計	4,558	22,057
営業外費用		
支払利息	6,993	2,293
為替差損	3,833	-
支払手数料	20,694	14,493
その他	853	126
営業外費用合計	32,374	16,913
経常利益	659,146	884,860
税金等調整前当期純利益	659,146	884,860
法人税、住民税及び事業税	32,707	92,243
法人税等調整額	△54,391	43,593
法人税等合計	△21,683	135,837
当期純利益	680,830	749,022
親会社株主に帰属する当期純利益	680,830	749,022

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	680,830	749,022
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,789	△8,342
その他の包括利益合計	△1,789	△8,342
包括利益	679,040	740,680
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	679,040	740,680
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,812,461	2,734,875	209,402	△431	5,756,307
当期変動額					
剰余金の配当			△44,103		△44,103
親会社株主に帰属する当期純利益			680,830		680,830
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	636,726	-	636,726
当期末残高	2,812,461	2,734,875	846,128	△431	6,393,033

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	29,589	29,589	5,785,897
当期変動額			
剰余金の配当			△44,103
親会社株主に帰属する当期純利益			680,830
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,789	△1,789	△1,789
当期変動額合計	△1,789	△1,789	634,936
当期末残高	27,800	27,800	6,420,834

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,812,461	2,734,875	846,128	△431	6,393,033
当期変動額					
剰余金の配当			△77,181		△77,181
親会社株主に帰属する当期純利益			749,022		749,022
自己株式の取得				△49,986	△49,986
自己株式の処分		△1,504		11,203	9,699
自己株式処分差損の振替		1,504	△1,504		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	670,336	△38,782	631,553
当期末残高	2,812,461	2,734,875	1,516,464	△39,214	7,024,587

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	27,800	27,800	6,420,834
当期変動額			
剰余金の配当			△77,181
親会社株主に帰属する当期純利益			749,022
自己株式の取得			△49,986
自己株式の処分			9,699
自己株式処分差損の振替			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8,342	△8,342	△8,342
当期変動額合計	△8,342	△8,342	623,211
当期末残高	19,457	19,457	7,044,045

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	659,146	884,860
減価償却費	196,201	198,534
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,328	△11,604
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,557	△3,162
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	-	186,650
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	41,084	△2,660
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,377	11,847
受取利息及び受取配当金	△30	△53
支払利息	6,993	2,293
売上債権の増減額 (△は増加)	△414,687	△137,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	343,073	△902,510
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,314	716,645
前受金の増減額 (△は減少)	△721,766	665,298
その他	△26,428	2,006
小計	101,507	1,610,232
利息及び配当金の受取額	30	53
利息の支払額	△6,597	△2,690
法人税等の支払額	△111,778	△11,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,837	1,596,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△45,817	△68,394
有形固定資産の売却による収入	38	-
関係会社の清算による収入	-	7,621
その他	△9,476	4,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,255	△55,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△49,986
配当金の支払額	△43,724	△76,813
リース債務の返済による支出	△63,414	△79,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,138	△206,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,559	△439
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△180,790	1,333,536
現金及び現金同等物の期首残高	900,042	719,251
現金及び現金同等物の期末残高	※1 719,251	※1 2,052,788

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

1 機動的かつ効率的な資金調達を目的に、金融機関2行と貸出コミットメント契約を締結しております。貸出コミットメントに係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
貸出コミットメントの総額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	－千円	－千円
差引額	2,000,000千円	2,000,000千円

2 機動的かつ効率的な資金調達を目的に、金融機関1行と当座貸越契約を締結しております。当座貸越契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
当座貸越極度額の総額	500,000千円	500,000千円
借入実行残高	－千円	－千円
差引額	500,000千円	500,000千円

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
役員報酬	92,810千円	111,099千円
給料手当	320,444千円	306,095千円
賞与引当金繰入額	44,516千円	40,287千円
退職給付費用	3,993千円	4,521千円
旅費交通費	71,599千円	50,628千円
支払手数料	64,684千円	69,849千円
減価償却費	63,083千円	47,973千円
貸倒引当金繰入額	△9,109千円	△11,604千円
研究開発費	53,299千円	68,776千円

※2 一般管理費に含まれている研究開発費

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
	53,299千円	68,776千円

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	719,251千円	2,052,788千円
現金及び現金同等物	719,251千円	2,052,788千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、事業部門別セグメントから構成されており、「装置関連事業」、「環境関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「装置関連事業」は、各種F A装置等の開発・製造・販売に関する事業を行っております。

「環境関連事業」は、太陽光パネル検査機器・検査サービス、太陽光パネル解体装置、太陽光パネルのリユース・リサイクルの販売に関する事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	装置関連事業	環境関連事業	合計	調整額 (注) 1	連結損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,402,270	476,503	6,878,773	—	6,878,773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,402,270	476,503	6,878,773	—	6,878,773
セグメント利益	1,150,020	70,956	1,220,977	△534,015	686,961
その他の項目 (注) 3					
減価償却費	159,588	11,914	171,503	24,698	196,201

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配賦されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	装置関連事業	環境関連事業	合計	調整額 (注) 1	連結損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,485,023	453,073	7,938,097	—	7,938,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,485,023	453,073	7,938,097	—	7,938,097
セグメント利益	1,286,282	143,242	1,429,525	△549,809	879,716
その他の項目 (注) 3					
減価償却費	149,935	21,089	171,025	27,509	198,534

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配賦されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)		当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	
1株当たり純資産額	291.17円	1株当たり純資産額	320.81円
1株当たり当期純利益	30.87円	1株当たり当期純利益	34.10円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	680,830	749,022
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	680,830	749,022
普通株式の期中平均株式数(株)	22,051,991	21,963,603

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
装置関連事業	8,678,785	142.9
環境関連事業	499,820	114.8
合計	9,178,606	141.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前期比 (%)	受注残高 (千円)	前期比 (%)
装置関連事業	3,461,947	38.9	3,469,080	46.3
環境関連事業	361,292	94.7	197,229	68.2
合計	3,823,239	41.2	3,666,310	47.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
装置関連事業	7,485,023	116.9
環境関連事業	453,073	95.1
合計	7,938,097	115.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。